

平成18年度一般会計は 241億8千万円

予算 特集

平成18年度当初予算が3月定例市議会で可決されました。予算の総額は752億4,305万円で、前年度（旧1市3町、一部事務組合等の通年予算見込みの合計）と比較して16億7,578万円（2.3%増）の増となっています。その内訳は、一般会計が241億8千万円、特別会計が5会計を合わせて153億8,022万円、企業会計が3会計合わせて356億8,283万円です。

今年度は、合併後初の通年予算となりますので、投資的経費については、「新市建設計画」を留意し、事業の緊急性、投資効果等を検討しました。また、行政改革大綱（集中改革プラン）を踏まえ、編成しています。

- ①旭中央病院アクセス道整備事業の調査・設計、あさひ健康パーク整備事業のパークゴルフ場の整備等、道路・排水等の市民生活基盤の整備、コミュニティバス運行事業の実施
- ②市民が安心して暮らせるための消防車両整備事業による消防車両や高規格救急車等の整備、防災対策事業による防災計画アセスメントの実施
- ③子育ての支援を総合的に行う地域子育て支援センター運営事業、地域での交流を通じて高齢者閉じこもりを予防する地域ふれあい交流事業の

実施

- ④小・中学校耐震診断調査事業、放課後児童健全育成事業、小・中学校と地域社会の連携による課外活動支援事業、地域での交流活動を通じ創造性豊かな子どもを育む地域子ども教室の実施
- ⑤安定した農業経営に向けた水田農業構造改革推進事業、豊かな産地づくり支援事業、経営体構造対策事業、商業活性化推進事業の実施、優良企業の誘致促進
- ⑥市民の行政への参画、地域活動の振興を図る事業

主要事業等について、新市建設計画の施策体系に沿って紹介します。

- 市道の整備
の整備は、地域のバランスも考慮に入れながら計画的に進めます。
- 旭中央病院アクセス道路は、事業実施に向けた現況測量等を実施しています。今後JRを跨ぐ橋梁の予備設計や地権者交渉に入っていきます。なお、国道126号飯岡バイパスから旭中央病院までの東西線についても、千葉県海匝地域整備センターと調整を図りながら早急に整備を進めます。
- 市道1級2号線長部地先の歩道整備事業は、東総運動場側から工事を始めています。その延伸約500メートルを整備します。
- 新・海上中学校南側4061号線を通学路として整備する事業に着工します。
- 全体の半分を終えた防衛施設周辺民生安定事業については、横根から塙新町地区に至る約500メートルの道路改良工事を実施します。
- 都市計画
●都市の健全な発展と秩序ある整備を図るために、新市におい

1 交流基盤が整備された 魅力的なまちづくり

●旭市の顔となる旭駅前線については、平成9年度から県施工として事業を進めており、地権者のご協力により計画面積の63パーセントの用地を取得し、道路形態も見えてきました。今年度は、電線共同溝の工事着手を予定しており、今後も駅前広場と道路部分の早期完成を目指し、県と連携を図りながら事業を進めます。

街路事業

●旭市の顔となる旭駅前線については、平成9年度から県施工として事業を進めており、地権者のご協力により計画面積の63パーセントの用地を取得し、道路形態も見えてきました。今年度は、電線共同溝の工事着手を予定しており、今後も駅前広場と道路部分の早期完成を目指し、県と連携を図りながら事業を進めます。



▲市民の足として本格運行するコミュニティバス

用語解説

●**一般会計**…市の基本的な行政を行うための会計です。行政サービスのほとんどが、この一般会計で賄われています。

●**特別会計**…国民健康保険のように特定の収入を特定の支出に充てて事業を行う場合などに、一般会計と区分して経理する会計。旭市では5つの特別会計が設けられています。

●**企業会計**…地方公共団体が経営する、原則として独立採算による事業で、経理の方法は一般会計や特別会計とは異なり、民間の会社と同じ複式簿記により損益計算書などを作成する会計。旭市では3つの企業会計が設けられています。

●**地方交付税**…財源の少ない地方公共団体でも一定水準の行政運営ができるよう、国から交付されるものです。

●**地方譲与税**…徴収の利便性などから、いったん国税として徴収されその後、市町村に譲与される税。地方道路譲与税や自動車重量譲与税などがあります。

●**国・県支出金**…国庫支出金と県支出金。市が行う特定事業に対し、国・県から交付されます。

●**分担金及び負担金**…市が行う特定の事業経費に充てるため、特別に関係のある人から徴収するものです。

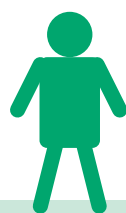
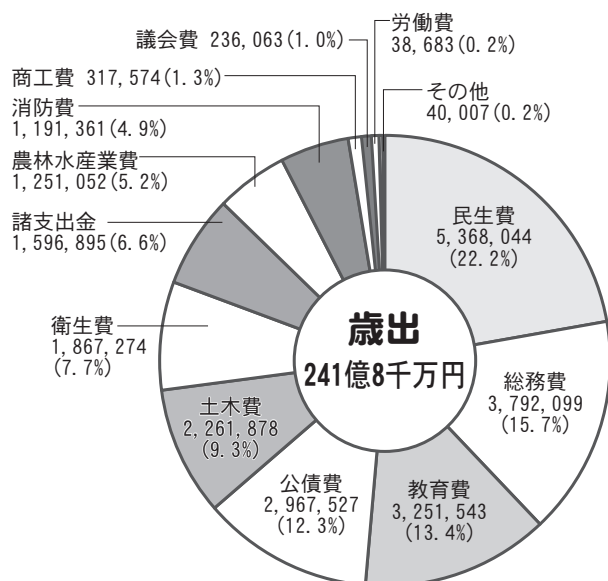
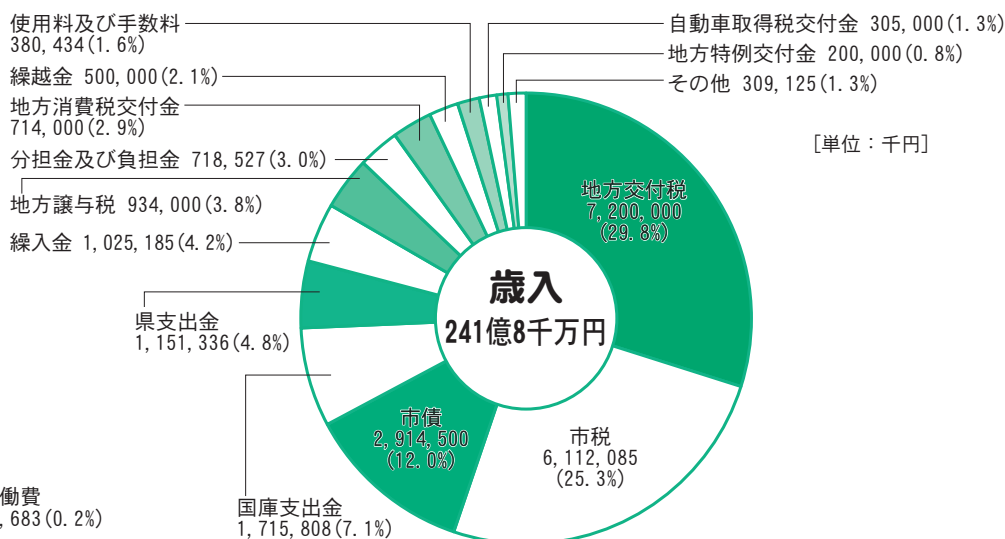
●**市債**…市が行う学校や道路整備などの財源に充てるため、借り入れるものです。

平成18年度会計別予算額

一般会計予算の内訳

区分	平成18年度	平成17年度	比較	伸び率
普通会計				
一般会計	24,180,000	23,160,812	1,019,188	4.4%
国民健康保険事業(事業勘定)	6,966,000	7,101,198	△135,198	△1.9%
国民健康保険事業(施設勘定)	69,600	68,841	759	1.1%
特別会計				
老人保健	4,471,000	4,577,698	△106,698	△2.3%
介護保険事業	3,047,030	3,171,566	△124,536	△3.9%
下水道事業	778,000	683,600	94,400	13.8%
農業集落排水事業	48,590	45,200	3,390	7.5%
合 計	15,380,220	15,648,103	△267,883	△1.7%
企業会計				
水道事業	(収) 1,690,720 (資) 480,295	(収) 1,761,529 (資) 548,152	△70,809 △67,857	△4.0% △12.4%
小 計	2,171,015	2,309,681	△138,666	△6.0%
病院事業	(収) 29,275,360 (資) 4,008,749	(収) 28,368,845 (資) 3,824,141	906,515 184,608	3.2% 4.8%
小 計	33,284,109	32,192,986	1,091,123	3.4%
国民宿舎事業	(収) 218,516 (資) 9,192	(収) 219,224 (資) 36,464	△708 △27,272	△0.3% △74.8%
小 計	227,708	255,688	△27,980	△10.9%
合 計	35,682,832	34,758,355	924,477	2.7%
合 計	75,243,052	73,567,270	1,675,782	2.3%

※ 企業会計欄における(収)は収益的支出、(資)は資本的支出です。



市民一人当たりの
予算額 337,936円

[人口71,552人／平成18年3月1日現在]

●谷丁場遊正線は、谷町場地の道路改良工事が今年3月に竣工し、国道126号と広域農道のアクセスと鎌数工業団地への連絡道としての利便性が格段に向上しています。また、国道南側部分については、道路・橋梁の整備設計の見直しを行い、都市計画変更の手続きを進め、早期の事業認可取得を目指す。

主要事業
①交流基盤が整備された
魅力的なまちづくり

(千円)

統合型地理情報システム整備	104,810
コミュニティバス等運行	68,892
防犯対策	17,822
道路新設改良	193,811
旭中央病院アクセス道整備	139,725
H-1-002号線交通安全施設整備(長部地先)	39,343
防衛施設周辺民生安定(埴地先)	43,689
街路整備(谷丁場遊正線)	16,968
旭駅前広場等整備	26,904
消防車両整備(常備消防)	65,220
消防団活動費	53,541
消防施設強化	7,400
消防施設整備	19,000
消防庫整備	23,729
消防車両整備(非常備消防)	36,928
防災対策	16,280
国民保護計画策定	4,437
防災基盤整備	10,400

■コミュニティバス

●昨年度まで、旭地区で1ルートの試行運行、飯岡地区で2ルート、海上・干潟地区で中央病院利用者を主な対象とした福祉バスを2ルート本格運行していました。今年度は、さらに利用しやすい市民の足となるよう、4月1日から、旭地区ルートを一部延伸して本格運行します。また、市内でのすべてのコミュニティバスの利用料金を1利用につき100円に統一します。

■消防

●老朽化の進んだ、飯岡分署の救急自動車とタンク車を更新整備するとともに、救急高度化を図るため、救急救命士の育成強化を計画的に推進します。

●消防団旭方面隊のタンク車1台、海上方面隊および飯岡方面隊の小型ポンプ積載車4台を更新整備し、旭駅前通りに耐震性

の防火水槽を設置します。

●老朽化の著しい消防庫について計画的に改築します。今年度は、旭方面隊第3分団第3部、海上方面隊第3分団第2部の消防庫を建設します。

■防災

●災害発生時の消防水利と飲料水確保のための耐震性の複合型井戸を整備します。

●合併後の新たな防災計画の策定については、現在、消防本部を中心として、素案を策定中です。また平行して防災アクセスメント調査を実施していますので、調査結果を十分生かし、新たな防災の総合計画として策定します。

●防災行政無線は、現在、施設の整備統合に向けた調査設計を実施しています。平成20年度からの整備実施の方向で調整を進めています。

■防犯

●防犯体制のより一層の強化を図るため、青色回転灯を装備した防犯パトロール車を配備します。

2

快適でうるおいのある
まちづくり

■広域ごみ処理事業

●東総地区広域市町村圏事務組合で取り組んでいる、東総地域ごみ処理広域化計画については、銚子市、匝瑳市、旭市の3市で協調しながら当該計画に沿って事業を推進します。

■水道事業

●将来にわたっての配水施設整備計画を策定し、合併前の市町ごとに設置されている施設の効率的な統合を図り、水道水の安定供給に努めます。

●これにより年間を通してのパトロールを行います。

●防犯灯の整備は、引き続き地元区と十分連携をとり進めます。

●の統一に向けて検討します。

●高度浄水処理施設を4月から供用開始し、より安全な水道水を供給します。

■下水道事業

●公共下水道は、3月末に、二の袋地区周辺等3.8ヘクタールを供用開始し、141.7ヘクタールの区域で利用できるようなりました。これで事業認可区域202ヘクタールのうち、約70パーセントが整備されました。今年度は、イ・ロ地先の幹線管渠工事とその周辺約4.2ヘクタール

主要事業
②快適でうるおいのあるまちづくり

(千円)

東総広域水道企業団負担金	118,084
環境衛生対策推進	44,596
合併処理浄化槽設置促進	47,907
不法投棄防止活動	12,719
火葬場運営	40,104
東総衛生組合負担金	198,599
塵芥処理施設運営費	510,152
農業集落排水事業特別会計繰出金	34,073
排水路整備	61,050
下水道事業特別会計繰出金	418,202
袋公園整備	59,648
文化の杜公園整備	348,788
あさひ健康パーク整備	227,862
水道事業会計繰出金	134,167



▲整備が進められている袋公園

■排水路

●椎名団地から十日市場までの排水路、下流部約500メートルを整備します。

■都市公園事業

●袋公園については、公園南東側に整備しているイベント広場に引き続き、修景施設、トイレ等の整備をします。

●文化の杜公園については、災

害時に対応できる防災機能を持つた総合公園としての基本計画を策定し、まちづくり交付金事業により整備を進めます。

●あさひ健康パーク整備事業
パークゴルフ場整備は、あさ

3 健やかでやすらぎのあるまちづくり

■保健事業

●予防接種は、今年度から旭と海上の保健センター2か所で行い、実施回数を増やします。

●母子保健事業は、飯岡保健センターで行います。会場を1か所にする事で、対象年齢の統一や受診機会が増えるメリットがあります。

●基本健康診査事業は、年齢層も高齢者が多いことから従来どおり4か所の保健センターで実施します。

■障害福祉

●障害福祉施策について国は、昨年11月に「障害者自立支援法」を制定しました。この法律では、身体障害、知的障害、精神障害といった障害種別により異なっていた福祉サービスが一元化され、利用者の1割負担の原則や国、県の費用負担の割合等が示されました。市では、関連する規則等の整備を進め、関係機関と連携を図りながら、障害者の自立支援に向けた体制の充実に努めます。

■高齢者福祉

●介護保険制度は、第2期事業計画が昨年度終了し、4月から、第3期介護保険事業計画とこれを包含した高齢者保健福祉計画がスタートします。平成17年度には、10年後を見据えた大幅な介護保険法の改正が行われ、介護予防重視型システムへの転換を目指すこととなります。今



▲働くお父さんお母さんを後押しする保育所

後は、世代間交流も含め、地域住民とのコミュニケーションの構築を図り、閉じこもりを予防していくための地域ふれあい交流事業などを、民生委員の方やボランティア等のご協力をいただきながら進めます。

■児童福祉

●すべての子どもたちがいきいきと、安心して暮らせるように、

4 心豊かな人と文化を育むまちづくり

■学校教育

●基礎学力の向上や、社会性を高めることを念頭に、各種事業を重点的に実施いたします。

●小・中学校教諭補助員配置事業については、15名の指導員を配置し、国語や算数の基礎基本の徹底や学力の向上さらには生活指導などきめ細かな指導をし

関係機関の協力で旭市要保護児童対策地域協議会を2月1日に設置しました。今後は、県の児童相談所等関係機関と一体となつて、相談や指導の充実をはじめ要保護児童を支援します。

●子育てに不安やストレスを抱える保護者も多いことから、子育て親子の交流の場として、「つどいの広場」を開設します。

ます。

●キャリア教育推進事業は、働くことの大切さを学び、働く力を養成するため、小学校3校と全中学校の2年生が、「ゆめ・仕事」びったり体験や「職場体験」活動を実施します。

●情報教育推進事業は、小中学校7校を指定校とし、児童生徒が光ファイバー回線を利用して、パソコンやインターネットなど情報機器を活用した学習活動を展開します。

●放課後児童健全育成事業（学童保育）は、今年度新たに琴田小、嚶鳴小、中和小の学区を加え、合計10か所で実施します。

■義務教育施設

●学校施設は、昭和56年以前の旧耐震基準で建築された校舎および屋内運動場のうち、補強工

主要事業 ③健やかでやすらぎのあるまちづくり

(千円)

障害者(児)ホームヘルプ支援	32,187
障害者(児)デイサービス支援	27,484
障害者(児)ショートステイ支援	28,919
障害者施設訓練支援等	299,797
重度心身障害者(児)医療費助成	91,248
国民健康保険事業特別会計繰出金	317,930
長寿祝金支給	23,560
シルバー人材センター助成	16,051
老人保健特別会計繰出金	355,009
介護予防	19,725
緊急通報体制等整備	12,378
配食サービス	7,608
家族介護用品給付	12,118
介護保険事業特別会計繰出金	417,434
出産祝金等支給	11,900
児童扶養手当給付	244,053
つどいの広場(子育て親子の交流の場)	3,518
児童手当給付	416,005
保育所運営費	696,207
延長保育促進	2,698
一時保育	4,601
私立保育所すこやか保育支援	56,025
生活保護扶助費	505,956
基本健康診査	110,549
がん検診	64,599
感染症予防対策	34,509
乳幼児健康診査	21,432
乳幼児医療費助成	59,087



▲放課後、子どもたちが過ごす学童クラブ

事で耐震化が見込まれる施設、小学校9校で12棟、中学校3校で4棟を、耐震診断し、早期の耐震化を進めます。

●第二中学校の屋内運動場と北校舎、連絡通路については、平成17年度に耐震診断を実施した結果、補強によるメリットが見込めないため、改築を行うための基本設計と屋内運動場の実施設計を実施します。

主要事業 ④心豊かな人と文化を 育むまちづくり

	(千円)
幼稚園就園奨励	22,906
適応指導教室指導員配置	1,700
沖縄交流	1,888
小学校耐震診断調査	51,702
小学校施設改修	31,136
小学校教諭補助員配置	10,997
放課後児童健全育成	47,093
中学校耐震診断調査	15,971
中学校施設改修	13,842
海上中学校建設	1,206,074
第二中学校改築	27,342
中学校教諭補助員配置	5,292
課外活動支援	1,881
社会教育活動費	12,829
文化振興	34,989
図書館情報サービス提供	7,212

●平成17年度から継続事業となっています。海上中学校の校舎等建設は、平成19年2月末の竣工を予定しています。

■社会教育

●市民一人ひとりが楽しみや生きがいを持ち、健康で心豊かな生活を送ることができるよう生涯学習推進計画を基盤に、「いつでも、だれでも学習ができ、その成果が社会の中で活かされる環境」の実現に向け、各種の生涯学習施策を展開します。

●小学生を対象に、学校や社会教育施設等を活用し、自然体験や社会体験等のできる「地域子ども教室」を学校・家庭・地域の連携、協力のもとに実施します。

●青少年健全育成事業として青少年が何を考え、何を求めているかを発表する場として、市内小中学校すべてを対象に「旭市青少年意見発表大会」を開催し



▲建設が進められている海上中学校

ます。

●文化振興については、市民が優れた芸術文化に触れることができるよう、東総文化会館を中心とした舞台芸術や美術作品を鑑賞する機会の提供および市内各地区において活動する多くの文化団体の育成等、多様な文化活動の成果を発表する場の提供に努めます。

●体育振興については、健康・体力づくりの重要性が認識されてきた中、それぞれの体力や年齢、技術に応じて手軽に楽しく継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。

●スポーツ大会は、市民駅伝大会や飯岡しおさいマラソン大会を開催するほか、5月には東部五市体育大会が旭市を会場に20種目27競技が開催されます。

●旭市が平成22年国体の卓球競

5 創造力と活力に満ちた まちづくり

技開催地となっていますので、今年度に「第65回国民体育大会旭市準備委員会」を設置し、各種卓球大会の招致など、卓球競技の振興を図ります。

●図書館事業については、合併に伴いサービスの提供範囲が広がったため、市図書館と各公民

館等の読書施設をネットワークで結び、図書の共有化とサービスの均一化を図ります。また、これと併せて市図書館を核として、各公民館や学校への図書配送サービスを実施し、読書環境を整備していきます。

■農業

●水田農業の構造改革については、安定した農業経営を実現するため地域水田農業ビジョンの目標達成を目指し、適地適作を基本に米の計画的生産を図っていきます。

●園芸については、県内屈指の大生産地として多種の野菜を栽培し、大消費地である首都圏へ安定的に供給をしています。農産物の安全・安心に対する消費者ニーズに応えるため、農薬や化学肥料の減量化の推進、そして生産性の向上と高品質化および合理化など産地体制の強化を図っていきます。

●農業基盤整備事業については、広域農業基盤緊急整備促進事業計画により、万才Ⅱ期地区ほか5地区で県営事業によるほ場整備と主要幹線農道の整備を予定しています。

●畜産については、県内でも屈指の畜産経営体が多く、県内をはじめ首都圏への重要な食料供給基地としての役割を担っており、畜産農家と耕種農家の連携を図り、広域的な資源循環型農業の推進と良質堆肥の生産施設の整備により、円滑な流通・利用体系の構築を進めます。

■水産業

●水産業の振興を図るため、つくり育てる漁業を推進する一方、漁港の航路確保のための浚渫と、護岸の環境整備等の漁港機能の充実を図ります。また、安定的な漁業経営の確立のため、水産業後継者や中核となる漁業者の育成を支援します。

■商業振興

●市内の4商工会については、昨年12月合併契約調印式を行い、4月1日合併します。これにより、県内では最大規模の会員数